

本日のプログラム

<会員卓話>

勝田会員

「三井信託銀行」は平成24年4月に新銀行名で発足しました。大正13年設立の三井信託と翌14年設立の住友信託、昭和37年設立の中央信託3社が一つになったもの



です。新人であった研修時に、創業者は米山梅吉で信託会社の未来に大きな可能性を確信し「社会への奉仕精神と創意工夫による開拓」という「奉仕開拓」の精神を掲げて三井信託設立に奔走し見事成し遂げたという話を聞いた記憶があります。現在でも当行の行動規範において「奉仕開拓」という言葉が使われており、「社会奉仕」が当社創業の精神の一つであることは認識していました。社会奉仕が基本理念であるとすっかり忘れていた米山梅吉の精神を、ロータリークラブに入会して思い出された事に縁を感じ、米山梅吉が理想とした職業が信託会社であり、その中で職業奉仕の理想を私なりに体現化していきたいと思っております。

信託銀行は、銀行業務(通常預金・貸出・為替)と信託業務があります。信託業務とは、金銭や有価証券、不動産など、信託の引き受けに関わる業務、仲介や鑑定など不動産関連業務、証券代行業務、遺言信託や遺産整理といった財産の管理処分等に関連する各種サービスの提供などを行っております。勝田会員より、シニア世代の財産の安全性を確保、家族や親族の生活の安定を確保、次世代への確実な財産継承などの信託商品の紹介がありました。

清水会員

旭鮨は昭和2年に初代が甲州街道沿いに蕎麦屋を開業したのが前身となっています。その前は足袋屋でした。2代目が下高井戸に寿司屋を開店し、当時戦時中だったので女性が鮨を握り、またお客様から頂いた米を握って返したのが始まりだったようです。その後、店は繁盛し出店も増え都心のデパートなどにも出店したりと、3代目の時には店舗が50店舗位となりました。私が入社3年目の頃はとても忙しく、店に多くのお客様が待ち並んでいただきましたが、私よりも年数の若い者と3人ではお客様をこなせなく、逆に粹なお客様から教わるような時代でした。店舗が増え板前も多数必要となり多くを採用することになったので講習会を開催し、現在でもそれは引き継



がれ10級制の試験制度を取り入れて育てております。しかしながらせっかく育てた板前を他社から引き抜かれる事もあります。

35年前になりますが、27才の時にシンガポールに3年赴任していました。当時はインフラの整備開発が盛んで、多くの企業が進出しており羽振りのいいお客様が沢山いらっしゃいました。なかなか帰国とはなりませんでしたが一生懸命仕事し、お客様と出会い、楽しく過ごした思い出があります。

帰国後、成城店、その2年後新百合ヶ丘店をオープンしました。すぐ潰れると言われた新百合ヶ丘店も少しずつお客様もついて31年目となります。私もひたすら真面目に働いてきました。旭鮨も地域の皆様に支援していただいて今があります。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。これからもお客様に喜ばれる鮨を作っていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

山本会員

私は高校生まで静岡県沼津市で生まれ育ちました。大学で東京に出てきて、東京と静岡の間を取って神奈川の横浜銀行に就職いたしました。祖父が物作りを、父も自宅の設計や建築などしていたことなど、小さな頃から側で見て携わっていた環境もあり職人希望でした。周囲に将棋差しも多く棋士を目指した事もありました。その後、高校、大学とアルバイト等で色々な仕事を経験し、また打ち込んできました。郵便局の年賀状の配達や、神田の青果市場近くのミスタードーナツ、高円寺では米の卸や赤羽で配送などの肉体労働、服飾メーカー、家庭教師等、沢山の職業を経験しそれぞれの難しさ、職業の大変さを実感しました。銀行に就職してから沢山の方と話す機会があり、かつて自分が経験したアルバイトの業種の方などに会えると当時の事を思い出します。身近な人の話を聞いたり、自分の経験したことは肥やしになると思っています。



先日、麻生中学校の職業体験の質疑応答で「銀行員として必要なものは何ですか?」という問いに、私は色々なバイトを経験してきたことから「資格とか色々あるけれど必要ない。人と話ができる事が必要、人に対して理解する力があればいい。色々な事を経験することが重要である」と話をしました。銀行員というと堅苦しいイメージですが、私はこのような色々なアルバイトを経験してきた人間ですので、堅苦しくないお付き合いをこれからもよろしく願いいたします。